



みなさんは、愛知県美術館の友の会をご存知でしょうか？多くの美術館が友の会組織を持っていますが、愛知県美術館の友の会は、愛知県美術館が運営しているのではなく、美術館とは独立した団体として、美術館と協力しながら鑑賞会や講演会を開いたり、美術館をサポートする活動をしたり、会報を発行したり、他の美術館への見学会など様々な活動をしています。

それらの活動のなかでも重要なのがそれぞれの企画展ごとに開かれる特別鑑賞会です。企画展が始まると最初の木曜日には、午前中に一回と午後一回開かれることになっています。

特に午後の鑑賞会では、夕刻、講堂で展覧会の担当学芸員からスライドなどを使った簡単なレクチャーを聴き、一般のお客さんが帰られた閉館後に展示室に移動して学芸員と一緒に鑑賞します。展示室では担当学芸員はもちろん他の学芸員も参加して作品を前に会話しながらの鑑賞です。どうも敷居が高く見られがちな美術館ですが、フレンドリーでアットホームな雰囲気の中で鑑賞できます。



今回の特別鑑賞会では、カンディンスキーの《印象Ⅲ(コンサート)》という代表作＝1911年の1月2日にシェーンベルクの楽曲が演奏されたコンサートを聞いたカンディンスキーが翌日その「印象」を絵画化したということで有名＝の前で、まさにそのコンサートで演奏された曲を学芸員がCDを用意し、参加者のみなさんはそれを聴きながら、鑑賞するというサプライズもありました。



作品の下の壁際に特別鑑賞会のために用意されたスピーカーが置かれています。

一般来場者では経験できないことに、みなさん満足されていました。

友の会はいつでも入会できます。特典もいろいろあります。是非入会を検討してみてください。

(S.T.)

